

職員による自己評価

保護者による評価

A環境面
 教室には CO2 濃度測定器や空間除菌機が設置されている。机や椅子、クッション、デスクガードや教材も使い終わるとそのつど除菌しているので、清潔に保たれている。

B児童への支援内容
 毎日のミーティングで各児童の情報を共有し、その日の療育内容について話し合っている。それをもとに各児童の特性に応じた適切な指導をし、自己肯定感を育んでいる。

C関係機関との連携
 コロナで引続きオンライン部会が多かったので、早く直接会って情報交換できるようになって欲しいと願っている。

D保護者への説明責任・信頼関係
 基本として保護者が送迎されるので、そのときに保護者にその日の療育内容をきめ細かく報告している。必要に応じて適切な助言や支援をしている。

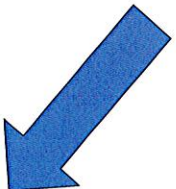
E非常対応
 入所時にアレルギーや持病について確認している。
 春と秋に避難訓練をしている。

A環境面
 CO2 濃度測定器や空間除菌機なども設置され、学習机にもデスクガードが設置されコロナ対策がなされている。
 療育スペースは適切に確保されている。

B児童への支援内容
 児童ひとりひとりの特性やレベルに合わせ適切な指導員を配置し、保護者と連携を取りながらきめ細かな療育をしてもらっている。

C事業所からの情報発信
 ホームページや毎月発信されるあさがお通信から情報を得ている。

D非常対応
 ヘルメットや災害用補助備蓄品の用意がある説明を受けている。
 目の前の小学校が指定避難場所のため、避難しやすく安心している。



事業所内での分析

【共通点】
 デスクガードや空間除菌機、CO2 濃度測定器を設置して、日々机や椅子、クッション、デスクガードや教材も使い終わるとそのつど除菌しているので、保護者からも安心して継続的に通所できると満足していただいている。
 療育内容については、保護者からは概ねご満足いただけている。

【相違点】
 働いている保護者からは、送迎サービスがあると一層ありがたいと言われている。

分析・検討してみて…

事業所の強み

毎日、その日の指導員全員でミーティングをし、その日の児童の特性や能力に応じて適切な課題を検討し、支援している。

毎回、子ども達とコミュニケーションをとりながら、その日の状況も考慮しながら児童に合わせて、きめ細かく自己肯定感が高まるように支援している。

送迎の際、保護者にその日の療育状況を報告し、子どもの療育に活かしている。

事業所の改善点

情報発信について、全員の保護者が見ているとは限らないので、今まで以上に同じことでも繰り返し、分かりやすく伝えていくように改善する。

事業所の改善への取り組み

情報を発信していても見逃している保護者も見受けられるので、今後は、確実に伝わっているか確認するよう工夫していく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

療育内容や日々の保護者対応については、多くの保護者から信頼とご満足をいただいています。集中力がつき離席がなくなり、自己肯定感が高まったなどのお声をいただいています。これからも職員一同、日々子ども達に真摯に向き合い、療育に励んで行きます。

事業所名 ディヤーナ国際アフタースクール網島
担当者 大畑 慶高